





萬外集要別録

第 一

癰疔内藥

第 二

瘡氣内藥

第 三

膏藥

第 四

散藥

第 五

草藥

第 六

小瘡藥

第 七

金瘡

第 八

湯火藥

第 九

腫物燒金口傳

第 十

口中之藥

第 十一

諸腫物



萬外集要

癰疔内藥

消毒飲此藥万ノ腫物諸ノ風
 証アルニカクコトナカレ諸腫物
 初テヲコリ頭痛シ寒熱シ腫物
 痛亦不痛腫物イデストイエ皮
 肉骨筋腫物トオフントゾモハ、
 先此藥ヲ数服因ハ其証タシ
 カニアラワレテ或散リ或腫レ
 テ其効不可勝計盛入ニハ一日一
 夜ニ三五服アタエ老卒ノ人ニハ二
 三服ヲ与ヨ邪毒表エイテ又内
 ニツヨク裏ヨリヲシイタ

ク表工... 此藥ヲ...
元氣ヲ調治血ノサイヲ用ヘキ也
定シル法也當流ニ此藥ヲ以テ
一切ノ腫物諸惡毒ヲ散ス也

防風 荊芥 羌活

獨活 柴胡 薄荷

連翹 桔梗 枳壳

川芎 白茯苓 金銀花

前胡 甘草 吉更 日少

右十四味生姜三片棗一ツ入大
便結ハ大黃亡硝熱甚腫物痛
ハ黃芩黃連乳香沒藥上焦二
有ニ白芷下焦ニ有ニ吉更甘草

去リ牛膝黃柏 痰有ニ半

陳ノニ味ヲ加右煎服ス

祛風消疔湯ヨリ疔諸腫物癰

ヲツカレヲトロエタル者ニハ極ヨ

リ後ニテ此菜ヲ用テ吉ニ

當皈 何首烏 木通

赤芍 白芷 小茴

芍藥 枳殼 甘草

右九味ホ分煎如常酒少入肥人

血氣盛人ニ服ヲ去腫物上焦有

人ニ木通ヲ去リ痰盛人ニ半夏

吉更生姜ヲ加熱身痛ニ獨活羌

活ヲ加腫物カタクイタニ有

トモシノ白ミ三本モト独モト六モト
 加カ汗ア出デテヤワラキ痛イタミ去キヘシ
 楠ナ益キ湯ユ此コ藥ヤクハハ出イテ後ノチイタミ
 亦モト不ス痛イ不ス食ハシ色イロ悪ク熱アツ指サシ引ヒ右ミ
 テチカチラチクククタタコレ老人ラウ童子コ
 男女オノメ庄シヨ二腫ニモリ物モノ病ヤメ中ナカヨリ病後ヤメノチテ
 此コ菜サイカクベカラス

黄ワウ氏シ 人ニ参シ 白ハク木キ

當タウ皀キ 陳チ皮ヒ 殊シュ麻マ

紫サ胡コ 甘カン中チュウ少ショ

右ミ八ハ味ミ水スイ分ブン生セイ姜キヤウ二ニ片ヘン東トウ一イツツ入ニル
 煎ケン如ニ常ジョウ胸キョウツカハハ氏シヲ去サリ香カウ符フ
 子シ加カ頭カウ痛ツク也ヤ防フウ風フウ苜モク蓆セツ痰タン有ユハ

氏シ去キ半ハン箕シ茨ソウ苓レイヲ加カ唇シヅ舌ゼツカワク
 者モト二ニ白ハク芍シヤウ藥ヤク黃ワウ連レン手テ肘ジウ痛イタハ桂ケイ
 枝シ腰ヤウ足ソクニカニカカハ牛ウ膝セツ杜ト中チュウ服フク
 張セウ小コ便ベン不ス通ツウ六ロク木キ通ツウ沢タク泻セツ小コ便ベン赤セツ
 シシフフララハ知チ母モ黃ワウ柏ハクヲ加カ

連レン翹キウ湯トウ此コ菜サイハハイイテ後ノチ腫モリ物モノイイエ
 カカ子シ血ケツ氣キヲヲ口コ口コ入ニル冬トウ菜サイナナト多タククニ
 脉マク沉シム細サイ虛キョ弱ジャクノ者モノ手テ足ソクヒヒ食シス
 之シ者モノツカレタル者モノ用ヨウテ吉キチ

沉シム香カウ大ダイ 連レン翹キウ中チュウ 桑サウ奇キ生セイ

朱シュ麻マ大ダイ 丁テイ香カウ中チュウ 独ドク活カク小ショ

吉キチ更セイ中チュウ 木キ通ツウ小ショ 乳ニウ香カウ小ショ

木キ香カウ中チュウ 大ダイ黃ワウ少ショ 香カウ附フ子シ

川芎

當歸大

牡丹

人參大

甘草

麝香少

右十八味丸散

用酒煎之

吉煎菜フリ菜之時ハ麝香ヲ不入

黃連湯此菜瀉久敷イ土穴ヨリキ

レハイツルニ持菜ニ用テトシテゴエテ

愈妙也

連翹イエヒアカリ名

白茯苓

白芍藥

兵郎子

枳實

黃連

黃芩 蘇合

甘草少

右九味煎法如常

煎五方之外當流ニ方ナレ此内ニ

天見合亦加味ノ千變万化ノ腫物凡治スル也

瘡氣之藥

清心湯此菜痘瘡未發已發并

木子痛筋ツマリ或半身力ナハス

或手足ヒキツリ何ノ瘡ニモ忌所ナレ

痔漏久イエスルイヤ無名毒腫ノ

分テアエテ如神

大黃

黃芩

黃連

熟地黃

杜中

沉香少

水蘚

黃柏

甘草少

右九味亦分合一服トナレ山椒

十丹入テ一服ヲ三度煎

一番ニ水天目二盃入テ一盃ニ
二番ニ水二盃半入テ一盃ニ
三番ニ水三盃入テ一盃ニ煎用天
目ノ大キ成テ以テ煎し用一服ヲ
一日ツクニ用也

清心湯加味之方

瘡イテ夕出スハ杜中地黄ヲ去リ
防風並荆菴活独活ヲ加瘡出
ツキ夕時ハ人參當歸芍朮白朮
ヲ加六七服与テ後ニ山椒米三千
カヲ倍ノ用シハ瘡イテ吉
夜ル氣分惡敷子ラシス非足
柴胡當歸芍朮ヲ加大黃ヲ去腰

起癰ニ甚ハ牛膝黃柏独活木瓜
ヲ加杜中防已加キヒチ痛ハ力
タク桂枝ヲ加ノ下イタニゴエ不
吉梗山椒ヨクイニシヲ加筋ツル
ニ木瓜ヨクイニシ痰多ハ半隻
茯苓陳上下ノ内痛不定ハ沉
香倍ス腹下ラハ茯苓連肉ヲ加
大黃黃柏ヲ去熱凡カサケハ一
日二三四度ハ下ルカ吉結スハ
腫氣出ル也崩夕凡瘡ニ外ヨ
リ仙人膏青膏ノゴトキヲ付テ
イヤス

右清心湯カサケニカキラス

ウノ崩タル物ニモ吉能ク口傳ヲ
ウケテ可用也



膏藥之製

膏藥前所^レ有^ル膏藥是也万
腫物ニ付テウニラスイ、ヤレ肉ヲ
アゲ^テ加味^シ万能^スニスル也他流ニハ
前後^ニ是^レニテ濟^スト云^ハ厄當流ニハ
恐冬膏仙人膏有故ニウニスイ
ニコレヲ用^ス

唐蠟十兩

青艾^ノ汁^ヲ入^ル

胡^ノ六^ノ油^ヲ入^ル

甘草^ノ粉^ヲ入^ル

鹿^ノ角^ノ粉^ヲ入^ル

右五味子^ヲリ^テ腫^ヲ子^ヲリ^テヤウ^ノ口^ノ傳^ヲ

先^ニ蠟^ヲヤキ^テモ^ト入^ス三^ノ火^ニテ

トカ^シドケタル時^ニ甘草^ヲ入^ル其^ノ後^ニ

角^ノ粉^ヲ入^ルサ^テ胡^ノ六^ノ油^ヲ入^ル子^ヲリ

合^ヘテ^テ水^ノ中^ニ入^テタ^マトナシ

油^ノ加^カ減^ヲ見^ニ合^ス春^ハ夏^ハ油^ヲニ

カ^エテ^テ子^ルル^ヘキ^ナリ^秋冬^ハ油^少ス

ク^シテ^テ子^ルル^キ也^油カ^ケン^能時^ヤ

キ^モノ^アゲ^テタ^バコ^ノ汁^ヲ入^ルイ^カニ

モ^色ノ^アラ^ク成^程コ^キ汁^ヲ入^ル

也^タバ^コヲ^入テ^後セ^ニス^ルゴ^トナ^カレ

色^替赤^クナル^{モノ}ナ^リ

青^膏加^味之^製

ウ^ニラ^ヨセ^亦ク^サラ^カサ^ン

月ニハタニハシ輕粉ヲ加テ付ヨ
氏一夜ヲクベシ。ウミヲハラワント思ハ
白バン光明朱ヲ加腫物痛有ハ
乳香没藥金銀花ヲ加イヤサント
思ハ昊天榆白皮蛇骨ヲ加肉ヲ
早くアゲント思ハ馬リ根少加
腫物カユクハ生白散ヒ子リ上
ニウヤクヲ付ヨ腫物愈カ子
ハ虎皮袋角ヲ少ヒ子リ其上
ニウヤクヲ付ヨ腫物熱セバ
蛇骨石膏ヲ加

赤膏是ハ能イヤスユウヤク
ナリ青膏仙人膏悉冬膏有

故ニ余リ不用然凡品々少
ツ合テモツハ辛也

膏蠟十兩 黄丹 一兩
辰砂 二兩 ヤルノ油 二兩

右四味子リヤウ青膏ニ同シユマ
ノ油ニテカケンシテ子ル也加味之
夏毛青膏ニ同前

黄膏是ハツヨクヲスニトヲナス
ナリスイテイヤシモスルナリ
唐蠟 十兩 黄柏粉 一兩

キウワウ 二兩 甘草粉 二兩
右四味子リヤウ前同加味亦
同前

白膏是八面瘡三付テ吉慈ノ
五膏少ツ合テ持テ吉故ニ
方ヲカク也大夏ノ腫物ニ膏
恐ノ外ハ不可用

唐蠟 十兩 唐土 一兩

雷丸油 一兩 麝香 五分

右四味子リヤウ加味煎ニ
黒膏是八押菜ニ又菜セキ
ノ代ニ用

唐蠟 十兩 百草霜 一兩

梅子 二兩 赤麝 二分

玉子毛 一兩 三ノ油 五分

右六味子リ合煎ノコウヤクヨク

少カタク子ルハキ也

家ガ秘傳仙人膏是ハウチニ

骨クチキイカヤウノ腫物疵ニ

付テモウミヲスイ愈シ肉ヲアケ

太刀疵ヤリ疵ヤキスチ万数

ノ疵イエスト云夏十ニ當流秘

夏之コウヤク是也何レノ疵何

ノ腫物ト云コトヲキラワス加減

ニテ一切之腫毒ニ腫テ如神

公脂 十兩 甘草粉 一兩
ヒニシヌムテコレ
カスラ去ル

麻茸 二兩 仙人草汁

右ノ松ヤニヲヤキモノニ入仙人草

ノ汁ニテ能ク湯煎ニテ。フトキ
布ニテコレテ。カスヲ去不同松脂
ノ正身ヲ亦ヤキモノニ入テ。トロカ
シ右ノ胡六ノ油ニテ子リ合ヘテ
ニテ水ノ中へ入テ加減ヲ見テ能
カシト思バシゲテサマス時ニ能
粉ヲ入ヨクカキマセテ。カタメ亦
仙人ノ汁ニテ。コウヤクヲ。モミア
ライクノ膏菜ノ色青ク成程
洗フヘキナリ

他人膏加味之煎。多キ腫物
ド肉有ニハ。ハニ白ハニ加イヤカン
ト思ニハ。蛇骨。灵天。一切。金瘡。疔。痛

ハ金銀花。乳香。没药。天南星。肉ヲ
早ク。アゲント思バ馬リン根。ホメキ
アラハ石膏。阿仙。葉ヲ。秘。ア。上ニ
ハ。蛎。五倍子。白。ハニ。黄栢。カ。シ。ウ
小瘡。六雄黄。白。ハニ。灵天
ラ病。汁。イ。テ。痛。ハ。白。ハニ。黄栢。阿
仙。葉。ヨ。コ。子。灸。ノ。後。ニ。輕。粉。吉。茶
打身痛。六。麻。角。五。倍。子。胡。桃
胸膈痛。七。前。ニ。同。但。シ。痰。痛。六。不
用。灸。瘡。ク。ツ。不。愈。ニ。黄。栢。甘。市
白。ハ。ニ。ヲ。加。太。刀。疵。早。イ。ヤ。シ。菜。ノ
コト。袋。角。ノ。粉。ヲ。糝。ニ。押。マ。セ。疵
ノ。上。ニ。ヌ。リ。其。フ。タ。ニ。仙。人。コ。ウ。ヲ。ヌ

六三日ノ内ニイユルナリ是ハ痲改
 ノ時ノト也常ノ病人ハ不用
 右仙人加味ハ痲此外ハ皆以コ
 夫ヲ用ヘキ也此方ト恐冬コウト
 両方ノ外當流ニハコウヤク不用也
 見物計ニ五膏ヲ持ツ也膏コウモ
 物ノ内ハカリ用
 恐冬膏是ハ大主ニイヤレイタミ
 フトメガワク腫物ノ類ニ吉金瘡
 亦瘡ノ類ナリ方ノ腫物ニ加味ノ
 用テイエスト云コトナレ此膏
 フ以テ當流大夏ノコウヤクトス
 又ノ不可有他也

薊芥 二兩

大黃 二兩

天蓋 二兩

金銀花 五兩

忍冬葉 十兩

胡大油 大七合

黃丹 一兩

右七味極末ノ用ユ子リヤウノコ
 ト先ツ油ヲヤキモノニ入子ル時ニ
 芥大黃ノニ味ヲキサマス上ヲ
 コソゲテ油ニテ融ケニル也大黃
 薊芥打テ見テ中ニテ黒ク成
 免時黃芥ヲ去不用其後ニ忍
 冬金銀花ヲ入テ子リカタクハ
 油ヲ入ソエシク子リテ其後丹
 三味ヲ入ヨキコロニ子リテヤ

入土ニ壘コトニ夜三日メニ
イタシ用時朱ニ入テ子リ合
テ吉加味之夏ハ仙人膏ニ同

粉藥之夏

梵氣散此藥下肉有テナララ
不何ヲ付テモウニトナリキカニ
付テド肉ヲクサラカシ腫物ノ
色赤ク丸ニテ付テ吉此藥ツ
ヨキ故ニ腫物カナラス痛ナリイ
ツケ腫物ニモド肉有テ痛ニハ
此藥ヲ下ニ子リカケテ上ニ仙
人カ忍冬カ青コウカヲ付ル也
タニハ下肉アサキモノニヤキテ中

ド肉厚モノ六生ニテ大

白朮 大 生

石膏 中

朱 中

龍骨 小

大黃 大

右六味極末ノヒ子リカケル十
リ是ニテモ惡肉キレスハヒサウハ
ニメウ少ハル也多ク入レハク丹
リスキテアレ少入ベシ惡肉
ナキモノハ此藥ヲイムヘシ

白芷丸此藥ハ腫物ウミタル時

十粒程ソ一日二三度ハカリ用レ

ハ口早クアキウニラハライテ吉

白芷 二兩

牛房子 四兩

木 二兩 牛膝 二兩

右極末シテ ● 是程ニ丸シテ 上

熊六酒ニテ中焦ニハサウラ

湯工入テ下焦ノ時ハ塩ニテ用

食前後ノコト如常

黄栢散此菜腫テ万腫物ヲ

イヤス何ノ腫物モ加減ス

黄栢大 野天大 白ハシ中

輕粉小 榆白皮大 黄丹大

乳香中 没药中 吉茶小

百菜煎 巾中 金銀花大

蛇骨小 右極末シテ用加三

ノコト痛甚者ニハ乳香没药

之者ナリ
シ千万数之外治数度覺へ有

生氣散此菜ハ産前後金瘡

腫物ニ腫ル氣付ナリ

蒲黄 二兩 無上ノ人參 二兩

巾 二寸 右極末シテ湯ニテ

モ水ニテモ腫ルナリ

神應散右生氣散ニ同

百草 二兩ヤキヤワ口傳フニ 人參 二兩

巾 二寸 右三味極末シテ

用ヤウ生氣ニ同



草藥之夏

輕花散此菜イカヤウノ草モ吉

土竜大 輕粉少 天花粉大

右コノ油ニテ子リ鳥羽ニテ付

黒熟散此菜モ一切ノ草ニ妙ナリ

ノ久大 名角豆大 輕粉小

灵天大 右末シテ付ヤウ前

同穴草ニ灵天ヲ大々ニシテ

ノ中エ子リ入タルカ吉

山栢湯 草洗菜ナリ是ニテ洗

テ菜ヲ細ク付ヘシ

黄栢 山梔子

右ホ分セシテ草洗テ記

消虫散此菜田虫草ト云ニ記

流黄一味食ニスリ合田虫ヲヨ

クク洗テ其上ニヌリガミノフ

タラシテフタノ上ヨリ火ニテア

ブル三度裡スハイエルナリ

白梵散何トイエサル田ムシモ此

菜ニテ不愈ト云コトナシ

白バン 和大黄 硫黄

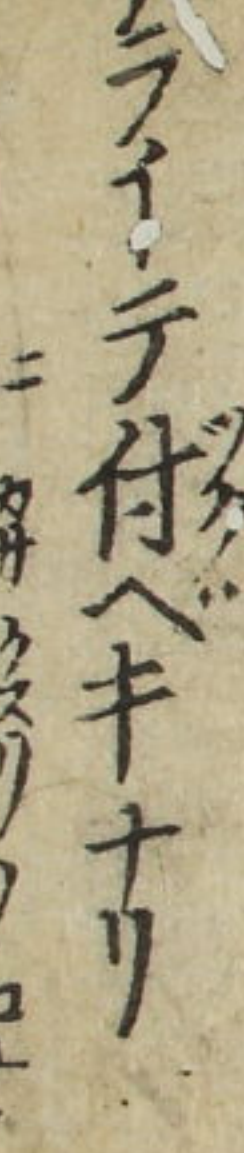
右三味末ソホカスニテ付ルナリ

亦方

和大黄 カラシ イカニモカラキ

右ニ味スリ合酢ニテ付ルヨク

アツイテ付ヘキナリ



小瘡藥之記

消瘡丸此菜タウガサ亦何小瘡

成氏内証ニハナクテ、バダエニ計有
ニ妙ナリ

照梅ニ

輕粉ニ

道四

苦棟皮八

サウタン五 但言クテクヨキ

右五味●是裡ニ丸シテ三十粒ツ

日三度与テ後倫急丸ヲ用下

スヘキナリ

硫掃散此藥小瘡ヲ愈下妙

硫黃大 黃柏中 赤小豆中

麝角中 榆白皮中

右五味極末シテゴミノ油ニテ付

麝角散此藥八足ニハキガサ

トテハキノコトキ出ルカサニ吉

廉角 黃柏 山梔子

右三味亦分末シテヒ子リカスル

赤油ニテモ吉

兵郎散何任シ又カサニ吉

亦カサニトニモ吉

兵郎子 曹土二

硫黃二

右糖テ子リ一七日手裏ニヌル

本絶散一切ノ腫物小瘡コブ

イホ惣瘡根ヌキナリ

巴豆少 靛地茶ワシ粉大

右二味糖ニテ如此ハ

ニテヤブリ亦小瘡ナドニヒ子
リカケルゴブハ如右針ニテ破
針ノアトヘセニ葉ヲサスナリ
血邪散此葉ハユビカサニ吉
世間ニユビヨソト云是ナリ

三ノス 五走 朱 二分

右血引ヲ朱トスリ食ノク口
ヤキホ分スリ合ユルクトシテ
付ルナリユビニ出ルモノニ
針ニテロヲアケレハイタマズ口
ガナキ故ニウミテタク痛ムモ
ナリ

ハチノスト云惡瘡有蜂ノス

ゴトク何カニモ出ルモノナリヤ
ニメト云魚ヲクロヤキニメ付シ
亦廉角散ト合テモ吉

▲面瘡ト云瘡ハタトハ目口鼻
郁テ物ヲ喰モノ也是ハ瘡ノナ
スゴト、キユエタリ貝母ヲ喰セテ
見レハイヤカル故ニ粉葉ニシテ多
世内証ハ瘡ノ療治ニテ愈ルト
云然氏師傳得後ツイニ不瘡
世ニシ成ト見エタリ

七 金瘡藥之真

龍骨散此葉切疵ニ早ク付ハ
ウミラナサズ風ヲヒカズシテ早ク

イヤレ血ヲ散末マテ詰茶ナリ

竜骨 三双 五倍子 八升半生

白シ 四双 無明異 四

乳香 二双 没薬 二双

黄柏 二双 金銀 二双

右八味茶ノ煎ニヒ子リカケルナリ

常ニ合テ持ヘキナリ

止痛散 金瘡血トマラズイタニ

ヲヤメアトマテ吉

乳香 没薬 各二双 吉茶 五分

ソウヒ 二双 竜骨 一双 赤リ血 一雙

紫粗 右七味茶シテヒ子リ

カケル

龍葉一念金 一名單中一念金

此茶ハ金瘡第一ノ工薬ナリ 血

ヲトスイヤレウニラナサス熱症新

症ニハレシヤクスヘシ子細ハイ

エスギルナリ

石ハイ 二升 梓ヒシテイシラサル

韭葉用 黄柏粉 五升

右石ハイヲウスニテツキヤムニラ

ノ葉ヲ入ツキ合イカニモ色ノ能

桂ニツキ合テ黄柏ノ粉ヲ入ツキ

合ス五月五日ニコシラエテ五

入土ニ埋ヲキテ用ヘキナリ 諸

カニ破タル時ハ油ニテ付ルナリ

骨ツギノ方

白茯苓腰足

桂枝手肘

白朮腰足

白朮手肘

臍ノ内

右末シテ酒ニ用半時ノ骨十

支五分加筒ノ内十支

白朮五フシ加腰足ノ骨十支

シツ五フシ加右酒ニテノ三衣ヲア

ツクキセテアセヲトルベシ余ハ

小切赤カ代カニクワレキナリ

治血湯金瘡ソリノ菜ナリツリ

ケツキタルモノハ手足ヲツヨクヲ

シツケテ此菜ヲ与ヨ

白ケイト上目

右末シテヌル湯ニテ

血滯散 是モ前ニ同

シ子ノコト云モクヨキ

右末シテヌル湯ニテ用

腫拂散 此菜金瘡打身ト之

血入タルヲ下スナリ

煎屎五斗糲ノ解へ巴豆五粒入テ

人參クロヤキ 右末シテヌル湯ニテ用

紫實散 是モソリノ菜ナリ

紫アサ大 右末シテ用

ユウカホ中 右ニ味粉ニソ湯ニ

テ用ナリ 金瘡一切之療治大

夏成ニヨツテ小切三具ナリ

湯火傷藥

蛤蚧散 此菜湯ヤケ火ヤケノ
菜ヲソシラクイエト云コトナシ

ハグリノカラ大 カキノカラ大

金銀花中 石膏少

黃柏大 巾大

右六味末シテゴシノ油ニテサイク

付シ亦之ハユヘノ汁ニテモ吉

石膏散是モ湯火傷ニ用

石コウ小 黃柏大 丹大

乳香小 沒藥小

右五味末シテ鐵秀水ニテ付

白散 此菜ヲ付テシルイテス

シカクヤケ入タルヨシルヘシヤケト

フカキハ治シガタシ

ユハクヒ大 丹大 巾小

右末シテ水ニテ付テカワカバヤ

ケ入テ深トシルベシカクヤケ入

タルモノムツカシキナリ

鬼子散 是モヤケト能愈ス

檳榔子大 丹大 蒲黃大

カシイ石小 右四味末シテゴ

シノ油ニテ付ルナリ一が大根ノ

實ヲスリテ黃柏ノ粉ヲスリ

合付レハイユルナリ

九腫物切疔金當コ夫

一切之腫物切疵ニカ子ヲ當ル
コト當流ニハレイテ不用然氏
口中ノ腫物亦ハ肉ノ内エニク
リコニタル大キナル腫物疵亦
老人小兒トハ多ク患フ程
スユルコトナラザルニヨツテ又ルカ
子ヲツルコト有必カ子ヲアテ
テ後ツヨク痛モノアリ其時ハ
金銀花ト甘草トホ分ニ合又
ノニツミカニニテムシテ腫物ノ上
ニムキ食ノヒエタルヲニキテムス
ベシ此イタミ止菜秘菜ナルカ
ルニサケ條ノ内金ノアテヤ

此菜ニテ痛ヲ止ルコト
諸流ニ有同敷モノナリ前思秘
極之菜也金ヲアテバイタニ又
工夫ヲシテアテヨ大方ハ灸ニテ
仕舞又金ヲレンシヤクセヨト云

口中之藥之製

黃丹散一切口中ノ瘡ニ吉
白ハシヤ 黃丹 黒梅
人中白 赤芍 片腦
六味極末シテ口中ニスリ又
黃柏散 口舌生瘡咽喉腫
痛ニ吉
ホウシヤ 馬牙硝 活石

寒水石 白礬 片礬

黄栢 吉茶

右八味ホ分極末シテ口中舌

スリヌル

龍腦散 喉症腫痛時ニ切

破リ血ヲ出シ其跡ニ付ル

竜腦 青塩 白ハシ

ホウシロ ヨイシ 吉更

辰砂 右七味ホ分極末用

咽喉洗菜此菜ニテ口中百

病洗テ吉其後粉菜付

柘榴皮多 黄栢 吉更

塩 苦硝 土竜多

菓子 黄連 ハキノ木

アガサ多 象牙 右十一味

末シテ水ニテセシ細ク洗テ吉

咽喉散 口中之腫物付テ

吉百病治コト 如神

兵郎子ヤク 冬葵子ヤク

黄栢ヤク 龍腦 乳香

黒梅 右極末シテ用

茄子散 大人小兒齒草ノ菜

下ヲ能アライ淨メ此菜付

ナスビノ皮大 輕粉 中

白ハシ大 竜腦大 乳香 中

右五味極末シテ用能ク工夫シ

テ用ヘキ者ナリ

諸腫物好物

大麦 アワ 小豆

小麦 コメ生用

檳榔 石榴

干ヤ ヲド ナメ 野老

イチゴ ホレイモノクキ クワガウ

クスノ 山ノイモ ムカゴ

サタウ ヒトモシ煮テ 鰯

鯉 鱒 鰻 コノメ 鴈

白鳥 用 秋冬 イリコ 牛房

右ノ外タイム金瘡者

紙二頁ナリ 萬外中之終

萬外集要小切紙目録下

第一 金瘡内茶 勤弁更

第二 諸病老若前中後更

第三 秘方口傳方奇之更

第四 打疵骨ツキノ秘菜



金瘡内某并勘弁夏

山本流七湯

剪疵

アカ 二兩二分

角 一兩

カワ 一兩三分

香 一兩三分

アラ 三分

カラ 一兩

突疵

アカ 二兩

角 一兩

カワ 一兩

香 一兩二分

アラ 一兩二分

カラ 一兩

矢疵

アカ 二兩三分

角 一兩

カワ 二兩

香 一兩三分

アラ 三分

カラ 一兩

打疵

アカ 二兩一分

角 二兩

カワ 二兩二分

香 一兩三分

アラ 三分

カラ 一兩

産前

アカ 二兩一分

角 二兩

カワ 一兩二分

香 一兩

アラ 三分

カラ 二分

産後

アカ 六兩

角 二兩一分

カワ 三兩

香 二兩二分

アラ 三分

カラ 一兩

大血道

アカ 六兩

角 二兩一分

カワ三兩

香二兩分

アラ三分

カラ三分

七氣諸勸弁

春ハ女相ノミドリヲカゲホシ
 ニメ上皮ヲムキテ末ノ少カ
 隻ハハレブトノカラスクロヤキ少
 加カラスノヤキヤウ豆七粒
 人參少口ニクワエサセテヤク也
 四季ノ土用ノ内ハ輕粉少加
 秋ハ芍薬ヲ加冬ハ白花芍薬
 シテ加ハ專ノ内ハ土竜ノ魚ヤ
 牛少加虫氣ニテ藥ヲ吐スル

都ハ下子木香末ノ加 手負

腰ハリ 痲痛ハ防風少加 頭ノ

痲ニ 大黃大芥 芍少加 大痲

血不止ハ痲ノ口ヲ其俛ヲキテ

松ノミトリヲ二兩ハカリ加ソリ

ノ心アヲバアカ一兩干姜少加

大夏ノ痲亦産前後ニ腰ヲ下

ス者ハヒンドウ草ニソハキ石齒

皮此三色ホ分ニシテ 肘少加

肢ニ色ツカハゲレノカラヲセンジ

酒ホ分入テ 菜ヲ与ヨ大夏ノ

肢中ニ酒ヲヒカエヨ手負サ
ムカリノントカハキ せキ出分

ラカラ大黃各一兩加へし血ト
マラスハ搗之頭人參少加血不
正ハ靑シトノ黒ヤキ三分加煎
痲ニガイコノヒウリヲカケホシ
ニメ加痲洗菘工柳葉枝エシジ
ユフジユブ靑木葉車前草セキ
セウ右煎塩少入ヌルくトシ洗
ベシウミフスガニエリニテトルベ
シ咳逆ニ川骨三分加腫氣
ハ角川一兩ツ加惣身痛ハ沉
ヲ去熱氣有ニ沉一兩加風ホ
ロシ出ニ沉角一兩ツ加淋病
ニアラ一兩加サムガリフルウモ

ムハカラ一兩加吐逆アラハ
ラ一兩角一兩二分本味ノ内ヲ
引へしアカザヲ一兩倍又産後
ニ煎換じタルモノニハ角川一兩
ツ本味ノ内エ加産後ニ古血
不下ハ角ア力一兩ツ加後物
不下ニ唐ゴマノ油トリテ加亦
不入モ吉同寒熱アリフルイ狂
乱スルモノニカ一兩加産後不
食ニ揚杏皮加同物ニ狂ニハア
カニ兩モ三兩モ加大便ヨリ血
下ラアカカ三兩ヲ加痲ウニク
サケアラハソバノアクニテ細ク

洗へし打身腫タル引菘桂心
黄柏トク木ノ分ニ合水カ蜜ニテ押
合ウニタル上ニツケテ紙ヲフタ
ニスベシ産後ニ小便不覺出ルユ
トアリ。せキモニ灸シテトムヘキ
也。痲ハレタル時ニ六山殊川千
シヤ。ホ分未シテコンヤノリニテ
子リテ付ヘシ紙ノフタヲスヘキ也
脱肛出タルニハアラカラ一兩ツ
本味ノ内工加剪痲成尺深ハ
突痲之菘ヲ用ヘキナリ。鹿白
古キハ青木葉ヲ飲トリ
テ未シテ深取へ入テ其上ヲ

青木葉ニテ張カニミテレハリ
ヲカクル也。切落タルヲツクコト
ホ子ツキハ燈心ヲ骨ノ間ニ入
へし指合其上ヲコフ成尺白イ
カ成尺亦ハユ柳成尺ニ分程ア
イラアケテアニテクルリト
ヒキニハシアトサキヲ結ナリ
筋ヲタシハカニノ甲ヲハナシテ
筋ヲ取テ未シテ筋道ニヒ子
ル也。剪ヲトシタル方ヲサゲ
テヲク也。ヒキニハシアトサキ
ヲ結テ其上ヲウスキ板ニ
テハサニテ吉ナリ。板ノヒロサ取

ニヨリテ五分ニモ一寸ニモ
ル也内菜ヲ用ルコトカニヨ
ナリ一日ニ六七度濯用但
ニヨリ大夏ノ手負ニ六氣
兼細々用ア力計酒ニテケ
レテ赤酒ニ酔程用吉也下
戸ナラハ酒ヲウメテ酔程
七氣菜性拵様口傳
アカザ。クロヤキ酒ヲソクキテ
ケレテ吉前火菜ニハ酒ニテ洗
キガ三ホシテ用ルナリ
コウホ子ケスリムクナリ。ヒケ
ヲ子バリ皮ヲコソケ白

三ノ二夜三日ヒタシ取アケテ
能日ニホシテ亦一夜酒ニツケ
テ其後少日ニホシテ粉ニシテ
用ルナリ

サギ。十八ノサヤ赤キ吉ツグ
ノ皮ヲムキ其俵ツカウ亦酒
ニ夜ツケテツキ合神麴ノコト
クコレラエテ後キサ三用也
ニラ。ノ。クロヤキ 沉香イカニモ
シルイテ香ノコキヲ用ルナリ
代菜ニ芥苳木香ヲ用
アラ。ク。ロヤキ 唐ニハ一番ノ魚ト
云日本ニテハアラトナツク太

公望云骨ヲ酒ニヒタシテ粉ニ
シテ腫トナリ

カラフ。クヨキ 唐ニニ番ノ魚

ト云日本。カラサケノコト也酒

ニヒカシテ日ニホシテ粉ニシテ用

七氣厄ニ云時ハキリンケツヲ

入ル血道ナト六吉但血不止

ハ加其外不火疵ヲイヤス時ハ

カラアラノニ味ヲヒカエヨイ

エギハニニ味ヲ別也亦吞

汁ニカラサケノユテ汁酒

ヲ合ハスル吉。イエギハニハ

不用銘ノウチヤウ 命仙散

鐵氣白鳥散 氏書ナリ

秘方白朝散 一切金瘡打

擲ニ用口傳有

人參 二兩 木香 二兩 紫蘇

縮砂 白茯苓 大黃

當歸 芍藥 地黃

茯苓 沉香 陳皮 各二兩

藿香 白芷 甘草

右十五味湯散ニシテ腫一服ノ

重サニ分五分バカリニシテフリ

菜ノ時ハキ又袋ニイシテフリ

テ後ニ天目ニ水八分入煎シ

用煎菜ノ時モ如常

白朝散加味之夏

春ハ故ヲ大ニス箕ハ芍ヲ大ス
秋ハ芍ヲ大ニス冬ハ芍ヲ大ス
熱氣有ニ黄芩柴胡ヲ加
甚熱ハ知母石膏ヲ加大便
結セハ芍ヲ去 棗仁枳壳ヲ
加大黄ヲ大ニス 小便不通ニ
沢泻木通ヲ加テ茯苓ヲ大ス
胸サワキニ麦門 茯苓遠志
ヲ加頭痛ニ芍 芷ヲ大ニス
虫氣ニ木香 兵即子ヲ加
痲ヨウニ茯苓吉更黄芩加
痲クニ芍有ニ氏沉香芍加

ソノニ獨活防風ヲ加 痛ニ
羌活防風ヲ加 不食ニ縮砂
枳壳ヲ加 嗽ニ陳皮ヲ大ニ
甘藷半隻ヲ加 痲ヲ煩内
版下ニ大ニ大ニ去肉豆カリ
口クヲ加 版痲 痲産後ナト
ニ版芍倍切渡ス痲口ヒ口
キニ大ニ大ニ倍ス虫ノ心有テ吐
逆セ、于姜ヲ加 咳逆有ニ
芍 丁香ヲ加 腫氣有ニ
大黄芍薬ヲ倍ス筋氣有ニ
黄芩ヲ加血止ニ毛吉 膈ニ血
ノヲ子タルニ杜丹皮 枳壳

仁三色ヲ加^ニ面赤色成^ルニ
前子ヲ加^ニ冷テ^ニ痲痛ニ^ハ白水
干姜ヲ加^ニ陳皮ヲ^{大ニ}ス
右^ニ兩方ヲ以テ^テ一切^ノ金瘡打撲
產前後^ノ血^ヲ不^レ愈^ニ能^ク工^夫之^ヲ
可^レ腫^ル者^也

金瘡打撲產前後不治
之形壯

頭鉢切ワリタルハ洗^フコトヲ忌^ム
外ノ痲毛所^ニヨリ洗^フコトヲ可^シ忌^ム
經日洗^フヲ吉トス
脹腸出タルヲ負^ハ起^スヘカラ
又且愈^{近ク}ノ時^ハ起^スヘキカ可^シ

身台^{コト}三十日ヨリ前^ハ不^レ可^シ
起^ル亦^不依^ル日數^ニモ
面目同色成^ル者^ハ生^ル
面赤目黄成^ル者^ハ死^ス
面^ヲラ^シレ^テ目黄成^ル者^ハ死^ス
面目共^ニ赤^キ者^ハ死^ス
面黒目青^キ者^ハ死^ス
額汗出^テ泪有^テ惡寒^ニ唇^ハ白^ク
ル^ニ身^ハス^ク三^ニ越^テ身^ハフ^ル少^ク衰^ス
死証^ニシ^タカイ^ナシ^ニ
血^ヲカ^キテ見^レル^クサ^キ夫^ハ生^ル
眼上^ニツ^キカタ^リタル^ハ死^ス
面肥^テ目白^キ者^ハ速^ニ死^ス

癰疽疔毒不出口アキ
テ時々アクビスル八大瘻
瘻ノ口カワキ筋不痛血不
出筋ノ色能シテモ脉虚弱
八大瘻不食モ惡シ亦平生
ト同前成モ惡シ氣ヨハキ都
ハ惡証見毆醫ニアゲク心ホ
ソケニミユルモ惡証
手負之遊邊工青蠅来モ
惡瘻口内エニクリユニツボミ
血不出シテカワキ薄黒色
ニシテ足上不該手足切々
ヤゴキ惣身鳥肌タツモ

惡証

右之証ヲ能ク見合可加
治此外モ人ニヨリ工夫シテ
可用ナリ



諸腫物金瘡老若前
中後ヲ可勘弁也

諸腫物諸金瘡老若者ハイ
カニモ治療ヲツヨク用テクル
ニカラス又ノエハ冠モ、ウテナド
ノ腫物ヤ瘻ハ早破リ速ニ可治
コト第一也 胸ノ内亦頭ナドノ
腫物ハ先裏エ、ウニ血ノ久又工夫
カニヨウトスベシ中ニモ頭ノ瘻ナド

ニツヨクアタルナカシ。腫物モ
同前平人ヲツヨク物ニテ打テ
ヨ頭ハ小アタリテモ目マイ卒倒
スル也。口キハサニ急証ナキモノ
ナリ。針ヲタタル氏痲ヲ洗氏女亦
幼少ノ子氏不孝者成者多近
クルコトナカシガニヤヤスル人モ一
人カ二人オラテハ逆付ヘカラス。是
第一ナリ亦前中後ト云コトハ初
テニルヲ前ト云痛ノ中比ヲ中ト
云未ヲ後ト云此ニツノ心持カシ
ヨソ也。老人小兒ナトノ病ハ初テ
カハル氏中分ノアイニライカニヨ

也。病ナトハ大人老人小兒氏急
証成故ニ早ク切テ早ク治スヘ
シ。其外ハ不痛工夫シテ少シソ
ク氏老人小兒虚弱之人ヲ可_ニ見
合コトナリ亦初テ見ル病ニモ中
後ノ病アルヘシ中後ニ見ル氏前
病アルベシ能ク口傳ヲエテ可_ニ見
合中比ヨリ初ノ病ニハ女ニハニヒ
サハパンメウノルイノ業ヲ不可_ニ用
莊盛ノ人ニ右ノ業ヲカクベカラ
ズヨロツ此心得カンヨウ也。早ク
可_ニ愈ヲソクスレハ壞証ト成余
病出来シテ危ヲイタス亦ヲ

論世治ヲ早クスレバ痛癢ノ
ケサルコト大ニ惡証トナル老弱
ノ都ハ其ヲ以テ病ニ不可勝表
裏タレカニノ以テ日數可勝如此
則老若虛弱前中後此ニ無
不到

三 雜秘方奇付金瘡好
物之良

生白散此其八前所々ニ書トコ
口ノ生白ナリ。ウニ去破ルコトヲ
ナス針ノアトノセシニヒ子リ亦
ウニアル腫物ニ膏其ノ下ニ
子リカケテ甚急所ノ腫モノ

ヲ破ル時ハ巴豆ノ油ト癩トニ押
合クテト思所ニヌリ其上ニ膏
其スリテ半時ハカリヲクベシ
破レテウニ出ルナリ。ウニサルモノ
ニ不用ニ方ニムシノカワヲトリ
テ右ノ其付ノタニノ吉
瓜 大生但腫物ノウニ 光明朱
右ニ味合色真紅ノコトクナルニ
三毒散此其一切之腫物ヲ早ク
破リクサリヲ解エ入大効アリ
四十霜 五西 スカニ 同マク 麻解
沉香霜 サイカモノ霜
右五味木分上焦ノ腫物

正ヲ五兩ツ、加下焦腫
 物ニ六、大黃四兩、蛇床子五兩ヲ
 右赤ノ茶一服、ホト酒ニテ用ユ
 上戸下戸、^酔ホト可懸ナリ
 鎮関散、此茶前ニ書セキ茶ナ
 リチリ、茶ニモ用
 アラメ、天花粉、苦辛
 作ノ虫屎、石ハイ、アズキ
 廉角、楊梅皮
 右水分粉ニシテ押茶ノ時ハコベ
 ノレルカ酢ニテ、人ベテ用セキ茶
 ノ時ハソク、^酔合口ヲアケテ
 付ベキナリ

アハコゴブスヘヌク茶夏

六月アカサヲトリテ、黒ヤキニメ
 石ハイトヲシ合茶ニ入水ヲヒタ
 くニ入テ、^酔ク其上ニ上白ノ餅
 ノ粒ヲ入、^酔交ハ日ニホシ冬ハカトド
 ノキワニラキ、^酔米ノドロケタル時
 作ノムラニテ、カキニセテ用付ヤ
 ウノフ、アガフスヘナドニハ、^酔作ノム
 ラニテ、^酔下地ヲコソケ血ヲイダシ
 其上ニ右ノ茶ヲスリテ、カミヲ
 フタニスベレユ、^酔フノヌキヤウハユブ
 ノキワヲ、^酔右コソケ血ヲ、^酔コヨ
 リラ、^酔ホソクレテ茶ヲヌリ、ユブヲ

大八ニツルハコヘ

蘇スココフフ 世キセシシヤヤ

丁チ子ジ ススニニシシルル 子コノノククハハ入入

右ニ塩シヲヲ四シニニ水スイ五ゴ升シヨウ入入ニニ

ニニセセニニシシハハレレヌヌルルテテ洗ア後ノチニニ

洗アフフククツツカカフフチチ 疔ウツヨヨウウニニ

又マタニニハハガガニニガガケケヲヲ一イチ束スツニニ切キテテ

入イテテ洗ア其ソノ後ノチゴコクク神シ散サンニニ苗ネ代ダイクク

三ノ葉ハククロロヤヤキキカカララ白ハクヤヤキキ

ホホ合カニニ合カ毒ドクノノ酢ス粘ネニニテテ飲インムム押オシ

合カ疔ウツノノ一イチワワリリニニ付ツクク又マタニニ六ロク杉シ葉エフ

如ニ常トシ付ツルルチチ疔ウツ中ナカニニ六ロク粉コン某カ

ヲヲ見ミ合カ可カ用ヨウナナ

白ハク水スイツツケケ少シククシシルル

白ハク水スイツツトト土ツ氣キヲヲ洗ア少シ

毒ドクニニ少シククアアララリリ用ヨウ

ノノミミ末マツ用ヨウ

以上三十八味服藥之令在

之外兼植用トモ各於下

制註之

腫物見様之古

腫物数多トイヘ依不依其数
癰疔風毒之ニシテ以テ第一
一切ハ風ヨリヲ元也。故風毒ノ
ヒチカニヨリ也。雖然ヨリ疔ノニ
ハ不依風ニ生ス。故ニ方ヲ分
腫先寒熱往來ニテ或腫或腕
亦ハ腫ホニ出ル腫物ハ其大小
ヲニヨ。一寸ヨリ大成ヲ以テ。ヨ
トス。其内ヲ以テ疽トス。其内
腫毒ハ分立立テ久ハレテ痛不
多ホヨリ分立テ痛ツヨシ生
方ニモ有其心得カニヨリ也。

一切ノ腫物初テ出時ハヤク押
菜膏菜ヲツケベカラス。サリナカ
ラ寒熱往來ナキ者ニハツケテモ
クルレカラス。何レノ腫物ニモ先
消毒飲ヲタテテサムケ立ト
瘰癧ヲサラセテ後。押菜コソ
ヤクラツケヘキ也。ヨリハ四十以
下ノ人ニ不出万一出テモ治
サキノ世ニ菜ニテ寒熱往來
キタラハ黒梅散ニテ
干中ニ灸ラスエヨ。初日ニ
日十四三日。四日。五日。五
灸ノ大キサコムト

此灸三テ。ウハキ

ウハキルベキハキル也。モシキラ
下思時ハキキヲヤメテアリ
ラ付ヨ。ウニタル時ハ右ノゴ
世キテ針ヲキリ針ニ立ヘカス
ズ何カテモ皆ワリ針ニ立ヘキ
也。針ノ跡ヘセシヲサシ。二百五日
モ。ウニヲヒカスベシ。世ニ生白散ヲ
ヒ子リ。カケテヨリテ指ベシ。是ニ
テ。ウニツキタル時ハ。仙人膏ニテ
愈スベシ。ウニハフイ。カ子バ。靨膏
ニタシハシテ少カテ。シケヨ。一夜ノ
内ニ。ウニテクサルベシ。タシハシテ多ク

入テハ癰ツヨクテ。イレ。少ニテ
サハ癰モノ也。ウニヤブレテ。ウニ
ヲ。ニキイダシタラハ。靨膏ヲ
シテ。仙人ヲツケテ。ウニト
レテ。跡クボク成ベシ。其時粉
糝ヲ以テ。ヒ子リカケテ。上ニ膏
糝ヲ付ヨ。何ノ腫物ト云ハ。此心
得カシヨ也。能ク工夫スベキ者

疔瘡ノ要

疔ト云ハ。先手足ト面トニ出
テ。疔ト云ハ。カタキ。初ハ。アハツブム。
トク。又ハ。ニキ。ヒノ。如ク。ニテ。カユク
ハ。根サレシム。

入タク千一サキセキ

大^九成モ所^レ有^レ痛^レコト。又エカ

タク針ニテ女^ノ如^クシ^レ筋^ノツリ。又

トハ左^ノニア^レハ左^ノ半^ノ身^ノ力^ノ六

其^ノ出^ルタル^ノ故^ノ身^ノスクム^ルモノ

ナリ^ニ面^ニ出^ルタル^ノ筋^ノニ^テ灸^ララ^ズナリ

必^ズス^ル心^ノ經^{ヨリ}出^ルル^{コト}多^ク故^也

手足^ノ筋^ノ毛^ノ寒^ヲ熱^{ナク}只^痛カ

リ^ノ人^ニ灸^スベ^シサ^モナ^ク寒^ヲ熱^{ナク}

有^ルニ^テ先^ニ灸^ラズ^ニ思^フベ^シ筋^ノト^ニミ^タラ^ズ

針^カカ^ミソ^リニ^テ十^ニ字^ニタ^キ

ワ^リテ^其中^ニ書^キテ^ト云^フテ^{フル}

ワ^タシ^ヤウ^成モ^ノ筋^ノ是^ラハ^サニ^切

取^テ其^ノ筋^ニモ^グサ^ラ。ヒ^ロゲ^ニ灸^ラ

ス^ベシ^其ア^トニ^筋ヲ^付ヨ^ニ夜

ノ^内ニ^筋去^テ白^筋アル^ベシ

其^ノ筋^ヲハ^サニ^切亦^青膏^ヲ付^ヨ

ド^ク肉^ツヨ^クハ^筋ニ^筋加^テ付^ヨソ^ン

レ^ニテ^筋サ^ルベ^シ其^ノ後^ニ仙^人膏^ヲ付^ヨ

イヤ^スベ^シモ^レ筋^ヲ切^コト^ヨソ^クハ

其^ノ痛^ム入^テ必^ズ死^スル^也ク^テ忌^ム

筋^ニ切^ハリ^テ後^ニ灸^セス^青膏^ニ

白^筋ニ^筋ハ^筋ヲ^加テ^筋サ^ラカ^スベ^シ

キ^筋ハ^筋散^黒梅^散ニ^筋

筋^ノハ^筋遊^クセ^クコ^トナ^カレ^トラ^ク

筋^ノ毒^ハ去^テ

筋^ノ毒^ハ去^テ

筋^ノ毒^ハ去^テ

赤菜ヲヒ子リ
膏ヲ付テイヤスレクビ
赤ト云レ別治ナレ亦五
云レ有當流ニ不用但寒
凡濕虛實元元コトカヨウナリ



風毒之度

風毒ト云ハ出所不定何クニモ
イツル物ナリタト又ハ風ヲ引テ
其風不夫レテ痛ヲナシ上ハ
ルマアリ又ソノウムアリ肉
多リ何ノ腫物ニモ上中底ノ
三ツアレ氏取ハ風毒六筋先
初テラコル時寒熱頭痛

イタミカタキモナク大キニ
ハルモノ有其
ソアタエヨ一日一夜ニ五服ハカリア
タエテ吉寒熱去痛一所ニアツ
マリ高成ヘシイヨク痛カ
ソ内菜ヲアタエヨ五日七日ニ
熱ノキテ大方ハ腫モ引モ
シ若中分ニ毒残テ痛ハ先
ヲタテヨ血成圧イタレテ吉四五
日ノ内ニ必ウムモノ也上タイラ
カ成圧少色付ハユビニテ押テ
ヨクホミテ指ヲヒクト一度ニ

ゴトクヨラハ
也然

針ヲ立ウニテハヤク
針ヲ立ウニテハヤク
指テ曰ク三度ホトツセシラヌク
ハシ根ヲシキサキ其ノ上ニ生
白散ヲヒ子リカケテ扱ヨリ
テサキニモ菜ヲ付テ指シラ
シモ大方ツキタラハ膏ヲ付
ヨニ日斗付タラハ針ノ口ヒロカ
リテ肉クホク成ヘシ其時仙人
膏ヲ付ヨ愈カ子ハ粉菜ニテ
カケン付ヨ凡毒ノ証ニハ灸ヲ
スルコト大キニ凡也然任他流ニ
用者アリ當流ニハ押菜其菜

ヲリエハヤク付ルコトヲイム子細
ハ可得口傳



雜腫物之夏

他流ニハ出所ヨリテ也
名ヲ付ルトイエ任外治無ニ
依之當流ニヨウ疔凡毒ノ
ツノ余ハ雜腫ト云タルハ何
カニイツル腫物成任三ツノ外
ハミツ黒梅ニテセキ中ニ灸ヲ
十四五スヘシ若ウニタルモノニ
針ヲタテバシ是モ寒熱往來
テ頭痛共先消毒飲ラ
クエテ後ニ針カ灸ヲ

口ニセシラ指コト前ニ同
カセテ後ニ青膏ニ白ハシラ
加付ヨ是ニテ。ウニ去跡イエ
カ子ハ仙人ニ粉葉ヲ加付テ。イ
ヤスベシ。イニダウニ又物ハ灸ニ破
ルコト。カニヨウ也何ノ腫物ニ此
心得スヘキナリ



各ヲ付ケ又更

何方ニ出来タル腫物成トモ。父
ク各ヲ付ルコトナカレ手足ノ腫
物ハ疔ナラズ疔ノ類カト云ヘ
シヨウソ風毒ナラハヨウソ風
毒ノ類カト云ヘレタレカニ各ヲ

形ルコトヲ當流ニ六嫌也子細
ハ外治タレカニ見トケテ。イヤサ
子バ越變ナリ。一愈又時越變
ヲエヌ。工夫也然レウタカウヘ
カラス尺ツヨク云テ人ヲトス
コトヲ云ヘカラス他流ニハ先ッ
早各ヲ付テ人ヲトス。故疔
人カヲトシ療治ムツカレキ
也其心得カニヨウナリ



瘡類之更

瘡ト云ハ先ッヤク出テ後ニヨ
子ヨリカサ出ナリ。ラヤフニモ
色々アレ疔治別ナレ生ヨリ

ソレルニテサイクシライト清膏ヲ付ヨ粉朮ニテ加減シテソレクニ用ヨウニ去テ愈カ子ハ仙人膏ニ生白散ヲ加テ付ヨイエヘシソレニテモイエカ子バ忍冬膏ヲ付ヨ其後ヨヨ子出バ灸ヲスエヨ一日二十スヘシ初日二十ニシ五日スエヨ灸クサリカ子バ十ベス三トシテホ分ニ合酒ノリニ合ヤイトノフタニ付テツケバヤフレテクサル也其時仙人膏ヲ付ヨ生白散ヲ加テ吉ハワリヲ黒毒ニテセ

キテ置ヘシ又ウニタルニハ灸ヲイム黒毒ニテセキ針ヲ立セシヲ指ヘシセンノコレラへ前ニ同前ノコトクメウニツケ跡ニ青膏ニ白ハニツケ大ニ加イヨクウニツケテ後ニ仙人コウヲ付イヤスヘキ也如此ノイエハナキ也其後瘡イテハ清心湯ヲ用ヨ初ハカサヲ出ヤウニ加減シテ中ヨハ気ヲツヨクスルヤウニ加減シテ末ニ瘡ナラヤウニ可ニ加減ス瘡愈テモ毒ヲ去チテ吉百日ノ内ハ湯治ナトモカタク

忌へし清心湯ニテ。イエ又六十
能々加減ノ可^レ用何ノ腫物ニ
寒熱モナク腫テ口モ^レシス亦ツ
ヨクイタマヌニハマツ先ニ瘡ハカ、
又カト同ヘシ瘡ヲ能イタサス
ナラシタルモノハ年ヲヘテ出ルモ
ノナリ若シナラハ清心湯ニテ
内ヲコレラエテ外ハ如常治シ

八 打腫物之度

打身色々アリ。タトヒ何ニテ打
リ血出ルモノハ血ヲハヤクトム
ルコトナカレ早ケハ跡痛ツヨク
腫テウムモノナリ。ツクトムル

コトナカレツツケレハ目マイソリ
ケ付モナリ。能コロニ出ヘシ目ニ
イ気ツカレ生気散神農散
湯ニテモ水ニテモ用ヘシ其後打
タル所ニ灸ヲ少クシテカイノス
エシ其後白朝散ヲアタエヘ
シヤフレタル所ハツ子ノ腫物ニ灸
ラス膏菜^ニニテイヤスヘシ内菜
計ニテモ愈ルナリ。七氣湯モ
可ナリ

九 痔漏之度

痔ト云ハ高ク腫タルモノナリ
漏ト云ハフカクマナアタモノナリ

痔ニ生姜ヲ敷其上ニ灸ヲ十
計ツ七日モ十日モスヘテ吉亦
ウニ灸時ハ餅ヲ炙テウニラ出シ
其アトノ上ニ右ノゴトク餅ノ膏
膏カ仙人膏ヲ付ヨトカク痔
云灸ホトノゴトハナキナリ漏ハ
フカクアキテ今時人屍ハス
云是也内ニト肉郁テ黄汁
イテハ先青膏ニ白ハニタニ
ヲ入テ穴ノ中エ入ヨ一日一夜
ツヨク癰ヘシガ子テ病者ニ可
癰由断テ癰スベシ其後死ノ
中クナリテウニタルカイニタウ

ス黒色ニテアラハサニニテ切
赤青膏ニ白ハニ計入テ付ヨ内
少赤クニ六灸ヲ少クメアツ
クオラバトリノケク百ハカリスエ
其跡ニ如右青膏ヲ付ヨ如
此スルヲ数日ノド肉去テ赤肉
ザクロノゴトクニエハ粉芥ヲ加
シテヒ子リカケ其上ニ仙人膏
ヲ付ヨ痔漏之令ニ内菜不用
灸敷不愈人ニ清心湯加味
ニテ用ヨ亦黄連湯モ可ナリ

十 湯火之度

湯ヤケ火ヤケ亦イツシ

物ニテヤキタルモ治同雖熱火
傷ヲカクヤケ入タル不治也何
モ別録ニ具ナリ

十 小瘡付草之皮

小瘡ハ色々雖有治無別童子
ナトノ髮瘡ハ先毛ヲハサニ後ヲ
少ノ瘡ノ上ニエアツケドシラ
ハトリノケク細クアタメ其
後仙人膏ヲ付ヨ麝香加付
ヨ赤薰陸香少加付ヨホヤ
アスセキコウ亦朱丹ナトヲ加
テ可然右ノ外惣身ニイテキタ
ル小瘡ニハ粉菜ノ内冥生散吉

赤草力小瘡カラ知コト
子ヲ末メヒ子リカクルニ草ナレ
ヲニス小瘡ナレ汁ニツレテナ
カレ落ルナリ

十一 腫物口知皮

赤ク腫ル物モ赤色ノツカ又
物モ口シレタコト有是ヲ知
ウスキ紙ヲヌラシ其腫物之大
キサニシテ腫タル上ニアテ見ヨ
口ノ所熱ツヨキ故ニヤク紙カ
ヒル物ナリソシラ口ト知ヘ其所
ニ針ニテモ灸ニテモセヨ

十二 腫物灸法

ク千キ打身ナトニ条
ハヒトモジノ白根ヲスリテ痛
所ニシキテ其上ニ灸スヘシヨ
疥ナトニハギキニ灸スヘシ金
瘡ニハ味曾ヲシキ灸スヘシ痔
漏ナトニハ生姜ヲシキテスヘ
シルイシキ痰毒ニハ附子ヲシ
クヘシ附子姜ハ錢ノアツ升
程成ヘシ

十四 金瘡之良

太刀疵 鐵疵 矢疵 鉄炮疵
其外何ニテモ鐵ノ類ニテ切タ
ルハ皆金瘡ナリ 太刀疵 深ハ

傷血ヲ曲ヘカラス亦ヲソク
曲ヘカラス先正氣散カ神
應ニテ氣ヲ正クノ頭ノキス
ハ物ニヨリカハラセテウコカス
ヘカラス 諸金瘡ハ内菜秘夏
十ニハ切鐵ニ具ナリ 鐵疵ハ先
疵ノ上ニ味曾ヲシキ灸ヲス
エヨソツクナラトリノチクシテ
疵ノ大小ニヨリテ灸百モ七八
十モスヨク鉄炮疵矢疵ニ 鐵
疵ノゴトク灸ヲスエヨ何モ疵
ノ口ヲ升クムシキタメ也疵ノ口
ヲ升ガレハ必内カウムト

亦八痛モイテクルモノナリ
大虫モワクモ也其ノ疾ハ取
鮮ニテ細ク洗ヘシ但取草ノ
煎汁ニテ鉄炮ノ玉身ニアルト
テ切コトナカレ上カラハアサク
ニユル肉ニカラミレテ深モノ
ナリ若ツヨク物ニカミイテ又キ
タキモノハ灸ヲ玉ノ上三五百
モ三百モ度々スエテ又クヘシ
卒余ニ切破ルコトナカレ口傳多
シ鉄々相傳可有ナリ



痰累之哀

痰毒ト云モノアリ是ハ不痛ノ

何方ニモ有モノナリ痰ノ經絡
ニ流行ノ出ルト云皮ト肉ト
ノ間ニルク●如此成モノナ
リ大小ハ無限無病ノ人ニモ多ク
フシ首ノミワリニ多ク出ルモノナリ
中少クロクアルモノナリ先生
幾力附子ヲレキ灸ヲ十計ツ
ス工次オノニ多スエヘシ灸ク
テ中ノウミ去ヘシ前カトヨリ黒
齒ニテ鉄々セクヘレウミノツキタ
ル時膏膏ニ白ハニヲ加付ヨ三
日スキテ穴アクヘシ其時穴
仙入ニ肉ヲテクル加味

肉ヲカリタラハイヤスヘキ
ハレキト云モノトニキルモ
ナルルイレキハ首ノアタリニクリ
クトメ能モノ也中ニコロニナ
イレキハ根サレ深レテムツカシ
キモノナリ是モ灸ヲ細クスニテ
四季ニ類生スヘシタクハ一代イ
又トニエタリ破テ馬ケツクゴトク
ニ成者アリククリテ氣腫ゴト
ク成モ多シトカクルイレキハ昔
葉ヲツヨクシテ中ニ灸ヲシテ
其跡ヲ膏葉ヲ以テイヤスヘ
内葉ニ清心湯ニ加減シ

若寒熱郁テ風ケ有ル
者ハ消毒飲ニ加減シテアタヘ
ヨトカクルイレキ瘡ハ治シスニ
コト百三二ノコト也折々療治
シタラハ身終マテ大難ヲニヌ
カレシカ

押葉之良

押葉ノハリヤウタトハ高カ
サシガカリタル腫物ハキワヲ
近クセクヘヒヒラクヘイクト有
モノイカニモトヲノクトセクヘシ
子ヲサント思時ハ口ヲアケス
葉ヲ酢ニテモ亦ハコヘ

ウヘシ當流ニ黒本

辨神閑散ト云テ三種有テ

廿七葉ニモ散葉ニモ腫

散腫物ユ夫

腫物散スコト先イロツカヌ内

ノコトナリ若色ツキテ散サント

セハカエツテワキハクリ数多ク

ナルヘヨウ疔凡毒ハキルヘカ

ラス其外ノ腫物ハ可散然凡

手足之腫物ハキラスヘキ也若

寒熱性来レテ頭痛スルコト

甚レキ者ヲチラサントセハ毒

裏エ入テ壞証トナラントナリ

癰疽灸法

ヨウソノニ病ハ灸治大衰成ニ

依テ別ニ灸方ヲ立ル也ヨウ

イツルトヒトレク口ヲミテ口上

ニ太キ成ニシクヲ錢程ニヘキ

テレキニシクノ上ニ灸ヲ如常

大サニレテ十斗スエヨニ度

スエタラハ可散ハ即時ニ去ラ

ムヘキハ其後一二日ノ内ニツイ

エルモノナリウミサル以前五三

日ハ灸ヲレテ十ガ九ハ愈ル也

七日以後ハ灸スルコトナカレ

老人童子ナトノ腫物ハ

破ヨリモ夕夕ニテ破コト世
ス鉄々可心得

十九 針之野

腫物ニ針ヲ立ルコト先腫タル
モノ高サヲ何分トツリテ其
腫タル程ハリヲ入ヘシ如此サヘ
タツレハ何方ニ立テモアヤナキ
ナレ何方ノ腫物成ル節ヲワル
コトクニ可立ナリ然ルニイマタウ
ニサルニ立亦ヲソク立浅立ル
故ニウミモ不引癢モスルナリ難
腫物之分ハ二日モ三日モヲク
針ヲ立テウミヲ鉄ヒカスヘシ

五ノツホト云腫アリセナカノカリ
カ子骨ノキヲニツノドブエキモ
サキ此此外モ動脈ノ所ヲヨクヘ
シ然ルハレノ高サヲツモリ平形
工針ニ分針入程ニハリヲヨリニテ
ニキテタツレハ五ノツホ急所ト
云ルケルシカラス平キ腫物ハ
マ又前ヨリセキ葉ヲ細クシテ
ウニヲ一所ニヨセテ針ヲ立ヘド
カク針ヲイヤカル者ニ生白散
ニテ破ルヘキナリ亦初心成肉ハ
針ヲアサク立テセキ葉ヲツヨ
クスレハセキイタス者也

辨ト云此心得カシヨウ

口中百病之方

口中ニ物イテキタル時ハ先針
ニテ破リ血ヲ取テ其跡エヤキ
カ子ヲ細クアテベキ也其跡ハ
龍腦散ヲ付ヘキ也舌ノ上ニ毛
ノイテタル時ハ塩湯ニテ細クア
ライテ黄柏散ヲ貼クヌルニ
亦コウヒモハヤク破血ヲ出シ
キカ子ヲアテテ其跡ニ龍腦散
ヲ細ク付ヨ齒草ト云テ童子
ナド齒グキクサルモノアリ治
シカタシ然レ前方ニ見ハ取

草煎汁ニテ細クアライテ

其跡エ業ヲヌルヘシ口中ノ腫

物ハヤク破リ血ヲトリヤキカ

子ヲアツルコト第一ナリ亦咽

喉散トテ口中百病ニ言業

アリ一切之業方別録ニアリ

外科可持道具之方

針 五本 燒金 二本 鉸 一本

鐵ノヘラ 二本 毛引鉸 一本

角ノヘラ 一本 長尺針 一本

鎌 口中切 一本 小刀 一本

サジ 一本

合十一本

萬外集



